

# 平成30年度事業報告

## ◆事業概要

国は平成28年に「地域共生社会」を提案し、あらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域をともに創っていく社会を目指しています。これは、制度・分野ごとの「縦割り」や「支える」・「受ける」という関係を超えて、地域住民や様々な団体が「我が事」として参画し、人や資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、課題を解決する仕組みの再構築を図るものとなっています。

その背景には、介護と育児の問題を同時に抱える人や、80代の親と働いていない50代の息子が同居するなど、複合的な生活課題を抱え、包括的な支援が必要な世帯が増えていること、少子高齢化や家族形態の変化等により、単身世帯が増加していること等があります。

これらの課題を踏まえ、本会では、地区社協を中心として、ボランティア団体、社会福祉施設、企業、学校、行政等さまざまな団体とのネットワークを活かし、制度の狭間で支援に結びついていない人たちを受け止め、支え合える地域づくりを進める等、地域の支え合い活動等の互助の層を厚くする取り組みを積極的に広げてきました。

引き続き、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域社会の実現に向けて取り組んでいきます。

## 1. 法人運営の基盤整備

### ①理事会・評議員会の開催

社協の運営・経営管理上の重要事項や適切な事業執行・基本方針等の決定を行うため、理事会・評議員会を開催しました。開催状況は下記のとおりです。

#### <理事会>

第1回 平成30年5月17日

議決事項

- 評議員候補者の選出について
- 平成29年度事業報告について
- 平成29年度一般会計収支決算・特別会計収支決算について
- 平成30年度第1回評議員の招集について

第2回 平成30年8月30日

議決事項

- 評議員候補者の選出について
- 平成30年度第2回評議員の招集について

第3回 平成31年1月29日

議決事項

- 評議員選任解任委員の選任について



- 定款の一部改正について
- 平成30年度一般会計収支補正予算について
- 平成30年度第3回評議員の招集について

第4回 平成31年3月20日

- 就業規則の全部改正について
- 育児介護休業等に関する規程の全部改正について
- 給与規程の一部改正について
- 平成31年度事業計画について
- 平成31年度一般会計収支予算について
- 平成30年度第4回評議員の招集について

#### <評議員会>

第1回 平成30年5月31日

議決事項

- 平成29年度事業報告について
- 平成29年度一般会計収支決算・特別会計収支決算について
- 理事の選任について

第2回 平成30年9月6日

議決事項

- 監事の選任について
- その他について
  - ・福祉バスの運営について

第3回 平成31年2月7日

議決事項

- 理事の選任について
- 定款の一部改正について
- 平成30年度一般会計収支補正予算について

第4回 平成31年3月27日

議決事項

- 就業規則の全部改正について
- 育児介護休業等に関する規程の全部改正について
- 給与規程の一部改正について
- 平成31年度事業計画について
- 平成31年度一般会計収支予算について
- 福祉サービス等改善向上委員の選任について



## 2. 財源の確保

### ① 会員制度の推進と寄付金について

社会福祉協議会（以下、社協）の重要な財源の一つが、市民の方々などから寄せられた会費や寄付です。こうした財源は、社協が民間組織として活気ある運営と事業の推進に欠かすことのできないものです。

#### 過去15年間の会員数の状況

年 度	住民会費 (500円/口)	賛助会費 (2,000円/口)	施設団体会費 (5,000円/口)	特別賛助会費 (5,000円以上)
平成16年度	7,257世帯	83事業所	9施設・団体	
平成17年度	7,279世帯	78事業所	10施設・団体	
平成18年度	7,205世帯	72事業所	14施設・団体	
平成19年度	7,165世帯	74事業所	13施設・団体	
平成20年度	7,126世帯	75事業所	18施設・団体	24名
平成21年度	7,051世帯	79事業所	20施設・団体	22名
平成22年度	6,869世帯	74事業所	21施設・団体	22名
平成23年度	6,910世帯	75事業所	22施設・団体	20名
平成24年度	6,838世帯	74事業所	21施設・団体	15名
平成25年度	6,778世帯	76事業所	18施設・団体	18名
平成26年度	6,578世帯	72事業所	22施設・団体	15名
平成27年度	6,595世帯	72事業所	23施設・団体	15名
平成28年度	6,481世帯	70事業所	23施設・団体	4名
平成29年度	6,388世帯	73事業所	24施設・団体	2名
平成30年度	6,307世帯	89事業所	24施設・団体	2名

#### 過去15年間の香典返し・寄付金の状況

年 度	香典返し寄付	一般寄付
平成16年度	6,375,000円	789,918円
平成17年度	5,690,000円	363,370円
平成18年度	6,053,000円	307,918円
平成19年度	4,970,000円	168,883円
平成20年度	5,075,000円	103,560円
平成21年度	5,040,000円	244,852円
平成22年度	4,833,000円	295,458円
平成23年度	4,735,000円	302,908円
平成24年度	5,480,000円 (242件)	1,134,844円 (金銭742,244円、物品392,600円)
平成25年度	4,515,000円 (219件)	353,410円 (金銭260,027円、物品93,383円)
平成26年度	4,426,000円 (219件)	384,072円 (金銭63,272円、物品320,800円)

平成27年度	3,460,000円 (185件)	353,981円 (金銭37,981円、物品316,000円)
平成28年度	3,227,000円 (162件)	267,575円 (金銭220,943円、物品46,632円)
平成29年度	2,496,000円 (140件)	1,403,119円 (金銭113,231円、物品1,289,986円)
平成30年度	2,133,000円 (141件)	252,187円 (金銭114,448円、物品7,739円、)

### 使途指定寄付金

年度	寄付金額	備考
平成29年度	384,770円	災害ボランティアセンター運営のため
平成30年度	100,000円	障がい者福祉の増進のため

### 3. 保健福祉ゾーン構想の推進に伴う総合相談窓口の充実

津久見市の保健福祉ゾーン構想の一翼を担い、保健福祉に関する相談窓口の一元化を推進しました。



#### ① 24時間365日対応総合相談窓口事業

土日祝日・夜間等に対応した相談等の実績

期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日集計

部署	平日 夜間早朝 18:00~0:00 6:00~8:00	平日 深夜 0:00~6:00	土日祝祭日 日中 8:00~18:00	土日祝祭日 夜間早朝 18:00~0:00 6:00~8:00	土日祝日 深夜 0:00~6:00	相談件数 合計	対応内容		
	電話による 相談対応	現場にて、 緊急対応	問い合わせ・ 連絡調整						
地域班 (前年度)	48件 (38件)	0件 (0件)	64件 (60件)	8件 (8件)	0件 (0件)	120件 (106件)	48件 (45件)	2件 (1件)	70件 (60件)
竹とんぼ (前年度)	20件 (12件)	0件 (1件)	28件 (16件)	1件 (6件)	0件 (1件)	49件 (36件)	9件 (6件)	1件 (1件)	39件 (29件)
包括 (前年度)	20件 (18件)	0件 (0件)	95件 (118件)	10件 (12件)	0件 (0件)	125件 (148件)	45件 (66件)	4件 (1件)	76件 (81件)
合計 (前年度)	88件 (68件)	0件 (1件)	187件 (194件)	19件 (26件)	0件 (1件)	294件 (290件)	102件 (117件)	7件 (3件)	185件 (170件)

生活全般の困りごと相談（離婚・相続・債務等）は、職員で対応し適切な機関へつなげました。

No	相談内容	H29 件数	H30 件数	No	相談内容	H29 件数	H30 件数
1	生計について	1	3	11	成年後見制度等について	5	3
2	年金について	1	0	12	人権・法律について	1	1
3	職業・生業について	0	0	13	財産について	0	0

4	住宅について	0	2	14	ストーカー・DVについて	2	0
5	家族について	1	0	15	児童について	0	1
6	結婚・離婚について	0	0	16	教育・青少年について	1	0
7	消費者トラブルについて	2	3	17	母子・父子について	2	0
8	ご近所トラブルについて	0	2	18	苦情について	1	0
9	健康・衛生について	0	0	19	その他（情報提供等）	8	5
10	医療について	0	0		合 計	25	20

※福祉制度や社協業務に関する相談は、計上しておりません。

※包括・竹とんぼに関する相談は、別紙にて計上しております。

## ②専門相談日の充実

複雑多様化する市民の方々からの相談に対処するため、専門相談日を設置し、ニーズに即した相談体制の充実を図りました。

	法テラスによる 法律相談		鳥越弁護士による 法律相談		民生委員による 心配ごと相談		司法書士による 法律相談	
	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度	29年度	30年度
4月	4	0	3	1	0	0	0	0
5月	1	0	1	2	1	0	0	2
6月	1	0	0	1	0	1	2	2
7月	2	2	2	3	0	0	1	3
8月	2	0	2	3	0	0	1	1
9月	4	3	中止	0	中止	0	1	5
10月	中止	2	中止	0	中止	0	中止	1
11月	中止	1	中止	1	中止	1	中止	0
12月	中止	2	中止	2	中止	0	1	2
1月	中止	0	1	3	0	0	0	1
2月	中止	0	2	1	1	0	2	3
3月	中止	1	2	1	0	1	0	1
合 計	14	11	13	18	2	3	8	21

## ③市民ふれあい交流センターの運営

市民ふれあい交流センターは、地域福祉活動の拠点として様々な事業に活用しました。

	大会議室		調理室兼中会議室		ボランティアセンター兼小会議室		談話室	
	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数	利用件数	利用人数
4月	16回	384名	1回	0名	27回	179名	20回	53名
5月	23回	457名	4回	46名	24回	231名	16回	26名
6月	19回	392名	2回	2名	18回	182名	16回	41名
7月	16回	342名	2回	10名	19回	172名	12回	24名
8月	24回	649名	7回	0名	19回	120名	13回	29名
9月	16回	279名	5回	10名	19回	165名	10回	20名

10月	24回	557名	4回	10名	20回	183名	18回	42名
11月	28回	896名	8回	0名	17回	140名	16回	13名
12月	22回	536名	2回	0名	12回	116名	12回	34名
1月	17回	365名	1回	0名	14回	124名	9回	16名
2月	15回	282名	1回	0名	18回	162名	14回	50名
3月	23回	599名	2回	1名	30回	194名	21回	41名
合計	243回	5,738名	39回	79名	237回	1,968名	177回	389名

29年度	167回	4,149名	28回	51名	143回	1,450名	122回	327名
------	------	--------	-----	-----	------	--------	------	------

#### 4. 地域福祉事業の推進

住民同士が連絡・連携をしながら、お互いの生活を支え合っていくための活動や仕組み（地区社協）を、それぞれの地域に合った形で取り組みを行えるように懇談会を開催しました。

##### ①地区社協による懇談会・交流会の開催状況（30年度22回）

日付	自治会名	場所	内容
4月4日	千怒区	千怒区公民館	総会・懇談
4月10日	川内区	川内区公民館	総会・懇談
4月11日	日見区	日見区公民館	総会・懇談
4月13日	青江区	青江公民館	総会・懇談
4月15日	四浦3区	落ノ浦集会所	総会・懇談
4月15日	畑区	岩屋口公民館	総会・懇談
4月18日	川上区	地藏町集会所	総会・懇談
4月27日	網代区	真珠作業所	総会・懇談
5月7日	小園町	小園会館	総会・懇談
5月8日	彦ノ内区	彦ノ内公会堂	総会・懇談
5月15日	長目区	長目公民館	総会・懇談
5月18日	徳浦区	徳浦公民館	総会・懇談
5月21日	警固屋区	警固屋区公民館	総会・懇談
6月29日	川上区	地藏町集会所	ネットワーク会議
7月24日	八戸区	八戸公民館	懇談会
8月24日	地藏町	地藏町集会所	懇談
9月21日	志手町	志手町公民館	懇談
9月23日	四浦2区	深良津健康管理センター	研修会
10月18日	大友町	岩屋公民館	研修会
10月26日	川上区	交流センター	研修会
12月26日	旭町	旭町会館	研修会
2月27日	赤崎区	赤崎公民館	懇談会
3月20日	川上区	地藏町集会所	定例会



（川上区社協総会）



（長目地区社協総会）

## ②地区社協設立状況（平成30年度）

No	地区社協名	設 立
1	地区社協青江	21年4月設立
2	地区社協福良	21年6月設立
3	地区社協四浦6	22年4月設立
4	地区社協徳浦	22年4月設立
5	地区社協警固屋	22年4月設立
6	地区社協網代	22年4月設立
7	地区社協江ノ浦	22年4月設立
8	地区社協赤崎	22年4月設立
9	地区社協川上	22年7月設立
10	地区社協日見	22年7月設立
11	地区社協千怒	22年10月設立
12	地区社協無垢島	22年12月設立
13	地区社協四浦1	23年2月設立
14	地区社協四浦2	23年2月設立
15	地区社協堅浦	23年3月設立
16	地区社協川内	23年4月設立
17	地区社協入船	23年4月設立
18	地区社協西ノ内	23年4月設立
19	地区社協長目	23年8月設立
20	地区社協畑	23年10月設立
21	地区社協中田	23年10月設立
22	地区社協岩屋	24年3月設立
23	地区社協四浦3	24年9月設立
24	地区社協保戸島	24年9月設立
25	地区社協宮本	25年4月設立
26	地区社協彦ノ内	25年5月設立



（青江地区社協総会）



（四浦2地区社協総会）



（徳浦地区社協総会）

## ③視察の受け入れ

(1)平成31年3月25日 九重町支え合いリーダーが視察（職員対応）



#### ④ふれあいいきいきサロン事業

「ふれあいいきいきサロン」とは、小地域を拠点に、住民同士のつながりや絆を深めたり、高齢者等の孤立や閉じこもりの予防、生きがいづくり等を目的として進める活動です。

※ふれあいいきいきサロン事業の実績は別に掲載しています。

#### ⑤ふれあい出前講座

知識や知恵、技術をもつ市民の方々に講師として社協に登録いただき、地区での研修やふれあいいきいきサロン等の講師として、派遣を行いました。

平成30年度 講師登録者：現在 36名・団体（無料）昨年度28

No	社協ふれあい出前講座メニュー	
	講座内容	講師
1	健康講座（心と体の健康） レクリエーション指導	藤沢忠生（僧侶）
2	障がいと子育て支援について	NPO法人やまびこ理事 倉原英樹
3	紙芝居・朗読・紙工作等	図書館ボランティアたんぼぼ 福田由美子
4	お気軽健康体操	健康運動指導士 内田弘美
5	高齢者のための交通安全	津久見市交通安全推進協議会
6	交通安全教室	津久見市交通安全協会
7	うつ病・心の病について	精神保健福祉士 下田憲子
8	「尊い命」など	小田恭壽
9	おへまの介護保険	介護支援専門員 塩崎雄司
10	手作りおもちゃ教室	ボランティア子ねずみ
11	歌・踊り・手品・皿回しなど	たちばな会
12	悪質商法撃退講座	大分県消費生活・男女共同参画プラザ
13	折り紙教室 居合演武	中津留 弘 (津久見剣道連盟)
14	ストレッチ体操・ダンス	村上珠美
15	フラダンス教室	服部咲枝
16	健康太極拳・いきいき体操	野田敬子
17	高齢者の財産管理	鳥越徹（弁護士）
18	唄・踊り・劇・フラダンス	友情の会
19	家庭でできる省エネ活動	日名子正嗣
20	健康づくり	日本3B体操協会平川千恵子
21	生命の貯蓄体操	塩崎敬子
22	知って得する電気のはなし	九州電力(株)佐伯営業所
23	ノルディックウォーキング体験	インストラクター井戸川幸雄
24	ハワイアン・フラ	エンジョイつくみ
25	吉四六の話	広田平作
26	護身・空手による健康体操	山崎豊



(笑いヨガ)



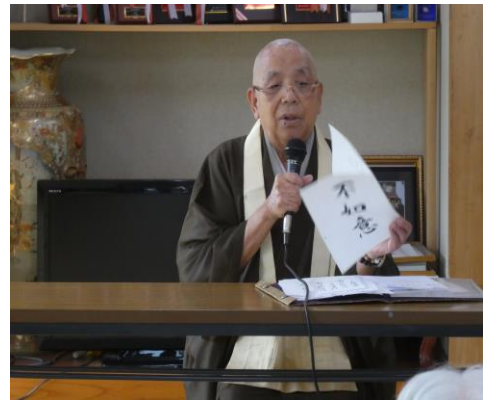
(下田憲子氏)



(友情の会)



27	はつらつ体操	しらうめ福祉会職員
28	いつでも元気な四浦地区	介護老人保健施設サテライトみなみ
29	中国変面と手品	佐藤寛倫（ミスターシュガー）
30	マジック	上田治美
31	医療、福祉、災害全般	大分赤十字病院
32	尺八演奏 他	津久見尺八の会
33	食育	NPO法人日本食育協会山口幸代
34	健康講話	市民健康管理センター
35	お薬健康講座	中部保健所 衛生課
36	音楽全般	つくみ「音楽友の会」
37	認知症サポーター養成講座	地域包括支援センター社協職員
38	体操☆レクリエーション	社会福祉協議会職員
39	軽スポーツ教室	



(小田恭寿氏)

○有料登録団体（個人）

社協ふれあい出前講座メニュー	
講座内容	講師
正しい薬の飲み方	NPO法人お薬研究会
県南落語	県南落語組合
腹話術	湯けむり別府支部 古澤アサ子
スポーツ吹矢体験	日本スポーツ吹矢協会津久見支部
笑いヨガ	大分笑いヨガクラブ モジュンダル由美子

○登録頂いた講師の方を派遣し出前講座を行ったケース（29ケース）※敬称略

日付	団体名	講師名
5月11日	日見サロン	笑いヨガ
5月15日	秋岡医院	ノルディックウォーキング
5月16日	秋岡医院	ノルディックウォーキング
5月17日	秋岡医院	ノルディックウォーキング
6月18日	徳浦サロン	手品 上田治美氏
6月22日	志手町サロン	下田氏講話／上田氏手品



(上田治美氏)



(広田平作氏)

日付	団体名	講師名
6月22日	秋桜	津久見尺八の会
7月6日	千怒6部サロン	中国変面・手品 ミスターシュガー氏
7月27日	セメント町サロン	下田氏講話／上田氏手品
8月20日	赤崎サロン	中国変面・手品 ミスターシュガー氏
9月8日	入船サロン	吉四六話し 広田平作氏
9月9日	岡町敬老会	ハワイアンフラ
9月11日	日見サロン	下田氏講話／上田氏手品
9月13日	釜戸サロン	中国変面・手品 ミスターシュガー氏

日付	団体名	講師名
9月13日	千怒旭町サロン	吉四六話し 広田平作氏
9月18日	秋桜	中国変面・手品 ミスターシュガー氏
9月20日	寿楽	音楽友の会
9月21日	田ノ浦サロン	吉四六話し 広田平作氏
9月23日	優美	津久見尺八の会
9月25日	じゃんけんぽん	紙芝居 図書館ボランティアたんぽぽ
9月28日	港町サロン	下田氏講話／上田氏手品
10月9日	西ノ内サロン	アイネスによる話
10月20日	秋桜	津久見尺八の会
10月30日	警固屋全体サロン	中国変面・手品 ミスターシュガー氏
11月9日	堅浦ひまわりサロン	吉四六話し 広田平作氏
11月13日	日見サロン	友情の会
12月5日	青江合同サロン	友情の会
2月17日	徳浦1サロン	白梅荘中津留氏
1月30日	佐伯市社会福祉協議会	藤沢忠生氏



(音楽友の会)

#### ⑥障がい者交流事業（ふれあいバス旅行）

障がいのある方の中には、地域の中で交流する機会や外出の機会が少なく、生活状況が近所の方でも把握できない方がいます。このような状況の方々と接すると、表面化していない様々なニーズが潜んでいることに気付かされる場合があります。

社協では、この交流事業をとおして障がい者の社会参加の促進とさまざまな方々との交流の場の提供、ニーズの把握等に努めています。

平成30年度：くじゅう花公園散策 参加者33名



#### ⑦福祉施設・事業所等連絡会の開催

##### 津久見市福祉施設・事業所等連絡会

多くの高齢者や障がい者の施設や福祉の仕事をしている事業所があります。「津久見市福祉施設事業所等連絡会」とは、こうした施設や事業所の関係者が集まって、情報交換や意見交換をする場です。施設のある地域の人々はもちろん、多くの市民に施設の存在を知っていただき、施設同士でネットワークを組んで、津久見市の福祉の向上を目指します。



(福祉施設事業所連絡会)

(参加施設事業所：高齢者施設事業所16、障がい者施設事業所4)

開催日	協議内容
第1回平成30年10月16日	①「移動スーパーとくし丸について」 ユーマートシニアライフサポート 佐野納由氏 ②津久見市民生委員児童委員協議会の活動について 津久見市社協職員 小野 喬

### ⑧関係機関団体ネットワーク会議

#### ㊤区長・民生委員児童委員と介護予防推進員との合同研修会の開催

地区社協活動を推進するうえで、まず、区長・民生委員児童委員・介護予防推進員の三者の連携強化は欠かせません。この連携強化を図るために、三者の合同研修会を開催しました。

日付	研修会	参加者数	日付	研修会	参加者数
11月12日	区長・民生委員・介護 予防推進員合同研修会 (宮本区・中田区・青 江区・堅浦区・網代 区・四浦2区・四浦6 区)	42名	11月13日	区長・民生委員・介護 予防推進員合同研修会 (入船区・彦ノ内区・ 畑区・長目区・江ノ浦 区・四浦3区・四浦5 区)	30名
11月21日	区長・民生委員・介護 予防推進員合同研修会 (千怒区、日見区、川 上区・川内区・赤崎 区・四浦4区、保戸島 区・八戸)	38名	11月29日	区長・民生委員・介護 予防推進員合同研修会 (岩屋区・西ノ内区・ 警固屋区・無垢島区・ 福良区・徳浦区・四浦 1区)	42名

#### ㊦その他ネットワーク会議

- ボランティア協力校連絡会議（7月12日）
- ボランティア連絡協議会交流会（9月26日）
- 津久見小学校区連絡会（6月19日・2月6日）
- 千怒小学校区連絡会（7月4日・3月8日）
- 堅徳小学校区連絡会（6月20日・11月16日・2月13日）
- 青江小学校区連絡会（6月7日・6月14日・3月6日）
- 福祉施設事業所連絡会（7月21日・3月15日）



#### ⑨ベンチ設置事業（共募・歳末配分）

津久見市建築士会の協力により、地区集会所、バス停留所にベンチを設置します。

平成30年度設置台数10台  
共同募金による配分（警固屋区・千怒区  
四浦5区・保戸島区・堅浦区・赤崎区  
西ノ内区）



(千怒区)



(警固屋区)



(四浦西泊地区)

#### ⑩地域助成事業（公募による配分）

市民の皆様から寄せられた共同募金を財源に、市内の福祉団体やボランティアグループ、自治会（地区社協）等の地域団体、社会福祉法人及び特定非営利活動法人等が行う市民の福祉向上のための取り組みに、助成を行います。

30年度助成団体

たけの子の会・紫の会

### 5. ボランティア活動の推進

#### ①ボランティアの登録及び支援事業：個人71名、グループ 24団体（435名）

グループ名	活動内容
・手話サークル「小鳩」	聴覚障がい者の手話通訳や交流活動
・ボランティアグループ「ふれあい」	施設での利用者の介助や行事介助等
・ボランティアグループ「のぎくの会」	各種イベント等の手伝い・福祉施設での作業手伝い等
・ボランティアグループ「ふれあい電話」	一人暮らし高齢者に対し、電話による安否確認
・ボランティアグループ「あけぼの会」	視覚障がい者の支援活動や交流活動
・図書館ボランティア「たんぽぽ」	図書館での朗読奉仕（子どもへの本の読み聞かせ）
・環境保全ボランティア「子ねずみ」	市内の海岸線、国道沿線、公園等の清掃活動
・修繕ボランティア	高齢者・障がい者世帯に訪問し、家屋の簡易補修
・つくみ環境美化グループ	市内の公園や周辺の植樹・緑化活動、清掃活動
・ボランティアグループ「りんり」	公園やイベント会場の清掃活動
・ボランティアグループ たちばな会	施設等訪問（演芸披露）
・たけの子の会	小学校の書写時に硬筆・毛筆の指導
・NPO法人ピースワーク	児童の自然体験学習他
・つくみ「音楽友の会」	病院、施設等への訪問演奏
・収集ボランティア鈴の会	古切手や使用済みテレホンカードなどを中心に収集し福祉団体等に送付
・食生活改善推進協議会	食生活の改善指導等
・くすの木サークルパパーズ	小学校の児童のために、環境整備の手伝い（津小）
・くすの木サークルマザーグース	小学生に本の読み聞かせを行う（津小）
・おたすけ会	保戸島地区の高齢者・病人の通院、入院介助
・地域女性団体連合会	イベント運営支援など

・津久見高校	施設等での交流ボランティア
・友情の会	唄・踊りなどでふれあい交流
・シルバードライバー協議会	交通安全運動の推進
・野の花会	福祉施設への支援

(個人登録)

・服のリフォーム(2名)	高齢者や障がい者の服のリフォームを行う
・音訳ボランティア(8名)	市報や社協だよりをテープに音訳編集し、視覚障がい者世帯に郵送
・夏のボランティア体験月間(28名)	夏休みのボランティア体験月間をきっかけに登録
・出前講師個人登録(20名)	自分の技能・技術・資格を生かし講師登録
・出前講師団体登録(12団体)	団体として、講師登録
・その他(9名)	自分の出来る時間に活動

②ボランティアの斡旋状況：ボランティアを必要とする方への派遣を行いました。

平成30年度斡旋実績：年46回

ボランティア斡旋状況内訳		
ボランティア活動内容	件数	備考
・修繕ボランティアとして	4件	社協を介さず直接活動しているものは、計上しておりません。
・ふれあい出前講師として	28件	
・講師(出前講師以外)として	1件	
・福祉体験学習講師として	6件	
・音訳活動	2件	
・イベントの手伝い	1件	
・服のリフォーム	1件	
・電話	3件	



(たけの子の会)



(修繕ボランティア)



(ふれあい)



(音訳ボランティア)

### ③ボランティアコーディネーターの設置

ボランティアコーディネーターを設置し、ボランティアに関する調査、育成・発掘、情報収集や発信を柱として運営を行っています。



#### ○ボランティア活動に関する相談件数

相談内容	相談件数		
	平成28年度	平成29年度	平成30年度
登録に関する事	22件	39件	27件
派遣に関する事	22件	24件	30件
活動に関する事	76件	64件	88件
個人・団体等の支援及び意見交換	80件	45件	103件
情報提供・発信に関する事	61件	38件	44件
連絡協議会に関する事	25件	19件	21件
その他相談件数	37件	20件	29件
計	323件	249件	342件

### ④ボランティア協力校関係

ボランティア協力校とは、学校関係者と社会福祉関係者及び地域住民が協力し合って計画的・系統的に子ども達にボランティア活動の場や世代間交流の機会を提供し、その実践体験を通して「優しさ」「いたわり」「行動する勇気」と「自主性」を養い、社会奉仕と社会連帯の豊かな心をもつ人間として育てることを目的として創設された事業です。

30年度の活動協力校：市社協指定7校（小・中）※津久見高校活動中止

#### H30年度 ボランティア協力校活動実績

	津久見小学校	青江小学校	堅徳小学校
活 動 内	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験学習</li> <li>555クリーン作戦</li> <li>地域の方々との交流事業</li> <li>花いっぱい運動</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験学習</li> <li>地域清掃活動</li> <li>うばめ園、青葉会との交流</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験学習</li> <li>地域の方々との交流事業</li> <li>施設イベントの手伝い</li> <li>その他</li> </ul>
	千怒小学校	保戸島小学校	第一中学校
	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験学習</li> <li>地域の方々との交流事業</li> <li>地域清掃活動</li> <li>めだか公園管理</li> <li>一人一鉢花育て運動</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々と餅つき等</li> <li>地域清掃活動</li> <li>施設での交流事業</li> <li>その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域清掃活動</li> <li>あいさつ運動</li> <li>漆喰灯籠づくり</li> <li>地域高齢者へ年賀状</li> <li>その他</li> </ul>

容	第二中学校	保戸島中学校	津久見高校
	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉体験学習</li> <li>地域清掃活動</li> <li>ペットボトルキャップ回収</li> <li>早朝ゴミ拾い</li> <li>地域の盆踊参加</li> <li>その他</li> </ul>	本年度休校	本年度活動中止

## ○福祉体験学習について

(社協職員と協力校とで福祉体験学習のメニュー作りを行いました。)

### ①堅徳小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4、5、6年生が取り組みました。

#### ● 絵手紙教室 (10月16日 4年生16名)

車いすで生活をしている原野彰子さんを講師に招いて絵手紙体験教室を行いました。



#### ● 講話・アイマスク体験 (10月23日 4・5年生他 49名)

視覚に障がいのある長谷真司さんを講師に招いて、盲学校で過ごしていた時の様子や町の中で不便な道路の様子などの話を伺った後、アイマスクでの体験学習を行いました。



#### ● 認知症サポーター養成講座 (10月30日 4・5年生 18名)

認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。



#### ● 高齢者疑似体験 (11月6日 4年生 15名)

高齢者疑似体験学習を行いました。体に高齢者疑似体験セットの装具をつけおじいちゃん、おばあちゃんになった子どもたちは、封筒を開けてみたり、本を読んだり、さまざまな体験を行いました。

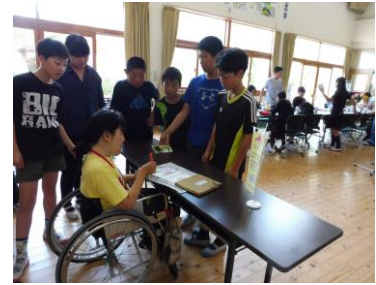


⑥津久見小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4・6年生、児童クラブが取り組みました。

● 絵手紙教室（6月22日 6年生 53名）

車いすで生活をしている原野彰子さんを講師に招いて絵手紙体験教室を行いました。



● 手話教室（8月29日 児童クラブ 25名）

大分県聴覚障害者センターから講師を招いて、手話学習会を行いました。



● 高齢者疑似体験学習（10月9日 4年生 49名）

高齢者疑似体験学習を行いました。体に高齢者疑似体験セットの装具をつけおじいちゃん、おばあちゃんになった子どもたちは、封筒を開けてみたり、本を読んだり、さまざまな体験を行いました。



● 認知症サポーター養成講座（10月26日 4年生 49名）

認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。



● 車いすバスケットボール（11月26日 4年生 49名）

車いすバスケットの選手たちと交流会を行いました。事前に準備した質問に選手たちが答えてくれた後、車いすバスケットの体験を行いました。





● 障がいについて研修（1月31日 4年生 49名）

サポートセンター竹とんぼの相談員より、「障がいについて」の説明があり、障がいについての理解を深めました。



#### ◎青江小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

● 障がいについて研修（2月15日 4年生 22名）

サポートセンター竹とんぼの相談員より、「障がいについて」の説明があり、障がいについての理解を深めました。



● 認知症サポーター養成講座（2月20日 4年生 22名）

認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。



● 車いす体験（2月28日 4年生 22名）

車いすを使って福祉体験学習を行いました。



#### ◎千怒小学校で福祉体験学習

「福祉」について考える学習として4年生が取り組みました。

● 認知症サポーター養成講座（6月6日 4年生 20名）

認知症キッズサポーター養成講座を開催しました。



● 高齢者疑似体験（6月13日 4年生 20名）

高齢者疑似体験学習を行いました。体に高齢者疑似体験セットの装具をつけおじいちゃん、おばあちゃんになった子どもたちは、封筒を開けてみたり、本を読んだり、さまざまな体験を行いました。



● 障がいについて研修（10月29日 4年生 19名）

サポートセンター竹とんぼの相談員より、「障がいについて」の説明があり、障がいについての理解を深めました。



● 講話・アイマスク体験（11月5日 4年生 19名）

視覚に障がいのある麻生恒雄さんを講師に招き、パラリンピックに出場した時の話やユニバーサルデザインなどの話を聞きました。



● 車いす体験（11月14日 4年生 18名）

車いすを使って福祉体験学習を行いました。



⑤夏のボランティア体験学習

夏休みを利用した、ボランティアな福祉活動を体験することにより、自分たちが住む地域社会の現状やその中で行われる福祉活動に対する理解と、ボランティア活動への積極的な参加を促進するものです。

平成30年度実績：7施設において28名の高校生・専門学校生・一般の方々がボランティア体験を行いました。（29年度は32名参加）



（保育園にて）



（介護施設にて）

## 6. 災害に関する取り組み

大規模災害や局地的豪雨災害などによって被災した地域の復興や被災者支援における災害時のボランティア活動の重要性を認識し、災害ボランティア事前登録や育成、さらには活動環境の整備を進めました。

### ①災害ボランティアの事前登録及び育成に関すること

市内外で起こる大規模災害から局所的な災害に備え、万が一災害が起きたときに迅速かつ効果的に復旧復興活動が行えるように事前の災害ボランティア登録制度を進めました。また、平常時から登録したボランティアの研修、情報交換などを行いました。

#### ◆災害ボランティアの事前登録者

団体登録 … 8団体（442名）

個人登録 … 1名

※その他災害ボランティア 11名（被災地へ直接支援）

### ②災害ボランティアセンターの体制整備に関すること

災害ボランティアセンターの運営を支援するボランティア関係機関、団体、企業、NPO、行政などが連携し、被災者ニーズに即し、円滑に支援できる体制づくりを進めるために、災害ボランティアネットワーク連絡会を設置し、情報交換や研修などを行いました。

#### ◆災害ボランティアネットワーク連絡会参加団体

参加団体 … 8団体

- ・大分教区カリタス カトリック津久見教会
- ・グリーンコープ生活協同組合おおいた
- ・天理教大分教区被災者支援チーム
- ・津久見市防災士会
- ・津久見市民生委員児童委員協議会
- ・大分県建築士会 津久見支部
- ・中部振興局 総務部第1班
- ・津久見市職員労働組合

#### ◆災害ボランティアネットワーク連絡会の開催状況

4月26日 災害ボランティアネットワーク連絡会

月 日	参加者	協議内容
4月26日	11名	・津久見市災害ボランティアセンター運営報告と反省 ・各団体の取り組みについて（被災後） ・ネットワーク連絡会の立ち上げについて
8月24日	9名	・広島県坂町支援報告について ・被災地支援のためのボランティアバス運行について ・意見交換

③災害ボランティアセンターの周知（センターの役割を市民へ知っていただく）

日 時	説明会	参加人数	場 所
5月15日	長目地区社協	21名	長目公民館
5月18日	徳浦区	22名	徳浦区公民館
5月21日	警固屋地区社協	35名	警固屋区公民館
7月12日	ボランティア協力校連絡会	5名	交流センター
7月21日	徳浦区	57名	徳浦区公民館
8月24日	川上地区社協	23名	地蔵町会館
9月 3日	青江区サロン	55名	青江公民館
9月21日	志手町サロン	21名	志手町公民館
9月23日	四浦2区	20名	刀自ヶ浦公民館
10月18日	大友町サロン	12名	岩屋公民館
2月24日	徳浦区と滝尾地区の合同研修会	30名	徳浦公民館

④津久見市の災害ボランティアセンターの取り組みを他市町村にて報告

日 時	説明会	参加人数	場 所
6月30日	ふじが丘地区	58名	大分市ふじが丘公民館
10月30日	田尻地区	47名	大分市植田公民館
2月23日	東植田小学校	21名	大分市東植田校区公民館
12月 4日	大分市中学校教育研究会	25名	TOSハウジングメッセ
12月 8日	佐伯市鶴谷中学校	602名	体育館
12月19日	豊後大野市清川町ボラ連	24名	交流センター

⑤被災地支援として、ボランティアバスの運行

◆愛媛県大洲市へ支援

平成30年8月31日 ボランティアバス運行 参加者18名

7. 県社協よりの受託事業

①日常生活自立支援事業（旧地域福祉権利擁護事業）

判断能力の不十分な認知症高齢者、知的障がい者または精神障がい者等で、かつ、親族等の援助が得られない方に対して、福祉サービスの利用手続きやそれに伴う日常的な金銭管理等を行い、在宅や施設・病院における日常生活を支援する事業です。

<利用対象者>

判断能力に不安のある認知症高齢者、知的障がい者または精神障がい者等で、かつ、親族等の援助が得られない方

<支援サービス内容>

- ◆福祉サービスの利用援助
- ◆福祉サービスに関する情報提供
- ◆福祉サービス利用料の支払い援助
- ◆日常的な金銭管理サービス
- ◆年金、手当などの受領確認
- ◆日常的な生活費の払い出し、預け入れ

- ◆医療費、公共料金、家賃等の支払い等
- ◆書類、通帳、保険証書、実印、銀行印等の預かりサービス

### <利用料>

①専門員による訪問相談、支援計画の作成	無 料
②契約後の生活支援員による援助 ・福祉サービスの利用のお手伝い ・日常生活に必要な手続きのお手伝い ・日常的なお金の出し入れのお手伝い	1回あたり1,330円
③大切な書類などのお預かり	1カ月あたり500円

### <申込方法>

津久見市社会福祉協議会に備えてある利用申込書により申請していただきます。事前にご本人と面会し、専門員が相談調査を行います。

<例えば> 通帳や印鑑の紛失や、家賃や新聞代の支払いを忘れてしまうことが多くなり、遠くに住む家族も心配になっていたAさん（ひとり暮らし高齢者）の場合。あんしんサポートセンターの生活支援員が、月に2回の訪問（回数は利用者ごとに話をして決定）をする中で、家賃や新聞代の支払い、生活費の支払いを支援して月々の滞納をなくし、通帳や印鑑については、あんしんサポートセンター内の金庫にて保管することで紛失を防ぐこととなった。

相談、契約の状況							相談内容
利用者区分	相談件数			契約件数			
	H28	H29	H30	H28	H29	H30	
認知症高齢者	6	4	4	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常の金銭管理</li> <li>・福祉サービスの利用について</li> <li>・今後の生活設計等について</li> <li>・事業についての内容照会</li> </ul>
知的障がい者	4	2	2	0	0	2	
精神障がい者	3	2	2	0	0	1	
その他	0	1	0	0	0	0	
計	13	9	8	0	1	3	

\*平成30年度末契約件数：8件（平成29年度10件）

内訳（認知症2件、知的障がい者4件、精神障がい者2件、解約者5件）

### ②生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金貸付制度は、他の貸付制度が利用できない所得の低い世帯、障がい者や高齢者世帯に対して、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的に、資金の貸付と必要な相談支援を行います。

### <貸付対象者>

- ◆低所得世帯  
世帯の収入が本事業の収入基準（生活保護費の1.8倍以内）を超えない世帯
- ◆障がい者世帯  
身体・知的・精神等の障害者手帳の交付を受けた方の属する世帯
- ◆高齢者世帯  
日常生活上、療養または介護を必要とする、おおむね65歳以上の高齢者が属し、その収入が本事業の収入基準を超えない世帯

## <貸付金の種類>

### ◆福祉資金

低所得者、障がい者又は高齢者の世帯に対し、資金の貸付と必要な相談支援を行うことで、経済的自立及び在宅福祉、社会参加の促進を図ることを目的とした貸付制度です。

### ◆教育支援資金

低所得者世帯を対象に、学校教育法に規定する高校、短大、大学、高等専門学校に就学するために必要な経費を無利子で貸付する制度です。

### ◆総合支援資金

失業や減収により生計維持が困難になり、生活再建のための継続的な相談支援を必要とする世帯に対して資金を貸し付ける事で世帯の自立を支援する制度です。（原則、生活困窮者自立支援窓口での相談が必要です。）

### ◆緊急小口資金

傷病、賃金の未払い等の原因により、一時的に著しい生活困窮に陥ったときに貸付する制度です。

### ◆不動産担保型生活資金

住み慣れた我が家で老後を送れるように、所有しているお住まいの土地・建物を担保として生活資金を貸付する制度です。（土地評価額1000万円以上）

## <貸付決定>

貸付は、大分県社会福祉協議会が審査を行います。審査結果によっては、資金の貸付ができない場合があります。

相談延件数			相談内容
平成28年度	平成29年度	平成30年度	緊急小口資金・教育支援資金・総合支援資金など
77件	85件	50件	

資金種別	貸付件数		
	H28	H29	H30
教育支援資金	2件	0件	1件
福祉資金（福祉）	1件	2件	0件
福祉資金（小口）	0件	2件	0件
総合支援資金	0件	0件	0件
計	3件	4件	1件

H30償還完了等件数	
種別	件数
償還完了	4件
償還免除	0件
延滞利子免除	0件



○貸付の累計件数（本年度契約分含む）

資金種別	累計件数	
福祉資金	福祉費	6件
	緊急小口資金	7件
教育支援資金	7件	
総合支援資金	1件	
離職者支援資金	1件	
計	22件	

### ③フードバンクおおいた事業

フードバンクとは、賞味期限内でまだ十分食べられるにもかかわらず、箱が壊れたり、印字ミスなどで販売できない食品などを、企業や家庭から寄付してもらい、食べ物に困っている人や福祉施設（団体）などに届ける事業です。

【提供していただきたい食料品】：常温で長期保存（1ヶ月以上）が可能で簡単なもの

※食料品の確保は、県社会福祉協議会が行っています。（県社協より市社協へ配布）

※食料品の支援は、個人に対しては、基本的に1回限りです。

平成30年度実績

食料支援を行ったケース

利用者区分	支援件数		
	H28	H29	H30
高齢者一人暮らし男性	1	4	2
高齢者一人暮らし女性	0	0	0
高齢者夫婦世帯	0	0	1
高齢の親と子供世帯	1	1	0
母子世帯	1	3	0
50代男性一人暮らし	0	1	3
50代女性一人暮らし	0	1	0
計	3	10	6



## 8. 津久見市よりの受託事業

### ①地域包括支援センター社協

地域における高齢者総合相談・支援、介護予防マネジメント、包括的組織的マネジメントを担う機関として事業の充実に努めました。

※包括支援センターの実績は別紙にて

### ②障がい者の相談窓口

障がい者指定相談事業所サポートセンター竹とんぼとして、障がい者や家族、介護者等からの相談に対し、必要な情報提供やサービスの利用援助等を行いました。

※竹とんぼの実績は別紙にて

### ③生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）の活動推進

#### ◆生活支援コーディネーター設置の背景

国は増加する介護に関する予算を少しでも削減したいという狙いで、介護保険制度の見直しを行いました。その中で、新たに制度設計され仕組みの一つが、この生活支援コーディネーターの設置です。高齢の方が、健康で地域で生活するためにはいろいろな課題の改善が必要となります。日常生活の維持に必要な買い物や掃除・外出支援、高齢者が生きがいをもって参加できる活動がこれまで以上に必要となり、お互いに支え合う多様な活動の充実が不可欠となります。このような、高齢者が抱える課題を少しでも解決する仕組みづくりを行政関係機関と協力して整備することを目的として、生活支援コーディネーターの設置が行われました。

◆生活支援コーディネーターの役割

役 割	①地域ニーズと資源の状況の見える化、問題・課題等の提起 ②多様な主体への協力依頼（働きかけ） ③関係者とのネットワーク化の推進 （連携の体制づくり、情報共有等） ④生活支援の担い手の養成、地域に不足するサービスの開発 ⑤地域の支援ニーズ（課題）とサービス提供主体とのマッチング
配置状況	地域班5名で担当

27年度の 取り組み	○高齢者の生活課題把握と分析、市内社会資源の把握 ①地区懇談会による課題把握 ②市内要支援1・2の方のサービスプラン分析（課題把握） ③社会資源の把握（サロンマップ・体操教室の把握）
28年度の 取り組み	○懇談会等で把握した地域課題を解決するしくみづくりの提案 つくみん安心見守りネットワーク ・市内の事業所（新聞、郵便、ガス、水道等）と見守り協定 ・市内の居宅介護支援事業所と協定（入所入院情報を民生委員へ）
29年度の 取り組み	○生活支援に関する事業企画案の検討 ・高齢者の生活課題をボランティアにより支援する仕組みの検討 ・新たな集いの場の検討
30年度の 取り組み	○生活支援に関する事業の立ち上げ ・つくみん困りごと支援センター立ち上げ準備 ・コミュニティ食堂立ち上げ

9. 在宅福祉サービス事業

①福祉機器の貸出事業

○貸出し状況

福祉機器名	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
電動ベット	8	6	3	4	7	3
車イス	61	41	50	41	48	52
ポータブルトイレ	6	7	15	17	9	9
ベットマット	0	0	0	0	0	0
介助バー・入浴グリップ	0	1	0	0	0	0
手押し車	0	0	0	0	0	0
エアーマット	在庫なし	在庫なし	在庫なし	0	0	0
バスボード	1	0	0	0	0	0
シャワーチェア	1	3	0	0	1	0
ベット柵	0	0	0	0	0	0
歩行器	2	1	4	0	0	0
松葉杖・杖	1	1	0	0	0	0
簡易浴槽	0	1	0	1	0	0



＜例えばのケース＞

- (1)施設や病院に入所や入院をしており、一時的に在宅へ戻る場合
- (2)介護保険を利用中であるが、旅行に行くため一週間のみ車椅子を借りたい。
- (3)介護保険を申請したが、認定結果が出るまでの間、ベットを借りたい。



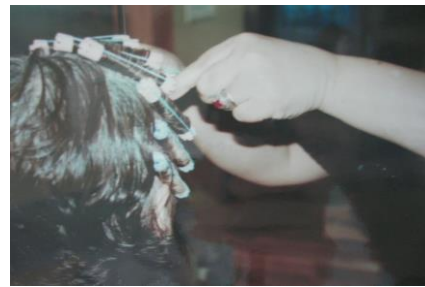
(車イス)



(ポータブルトイレ)

②訪問理美容サービス

在宅で寝たきりの高齢者や障がい者に対して、理美容師を派遣して整髪を行いました。  
 ※社協より、理美容師に出張料を支払い、利用者は理美容の店内料金を理美容師に支払います。



年度	実利用者数	延べ利用回数
平成25年度	4名	13回
平成26年度	5名	10回
平成27年度	4名	10回
平成28年度	7名	12回
平成29年度	4名	10回
平成30年度	5名	13回

③ふれあい電話

ボランティアにより、一人暮らしの高齢者世帯へ、月2回電話による安否確認の声かけを行いました。(電話は社協より利用者宅へ行きます。)



年度	実利用者数
平成27年度	9名
平成28年度	8名
平成29年度	8名
平成30年度	8名

## 10. 啓蒙啓発活動

- ①広報紙「たちばな」発行：年4回発行
- ②ホームページ、フェイスブックの運用
- ③市社会福祉大会の開催：式典・体験発表・講演会

## 11. 共同募金活動の推進

### ①共同募金運動

県共同募金会の支会として、募金活動を行いました。

平成30年度実績	3,371,697円
戸別募金	2,576,200円
法人募金	290,000円
職域募金（ボールペン）	413,685円
職域募金（バッチ）	18,860円
グルメ散歩募金	18,324円
自販機募金	24,480円
その他募金	30,142円
預金利息	6円



### ②歳末たすけあい募金運動

平成30年度募金実績  
1,632,404円



平成30年度配分実績

配分先	配分金額
要保護・準要保護該当小中学生	288,000円
生活困窮者支援事業（社協）	150,000円
地域交流事業（うばめ園）	80,000円
地域交流事業（ちちんぷいぷいあけぼの）	20,000円
福祉拠点整備事業 （中田、青江、徳浦、長目、網代、無垢島）	541,428円

### ③生活困窮者支援制度

この制度は、歳末助け合い募金を財源とし、緊急的に金銭による支援が必要な世帯で、生活保護制度や生活福祉資金貸付制度等、他法他施策の利用が難しい生活困窮世帯へ現金の貸付を行うことにより、当該世帯の生活の安定と自立を支援する事業です。

平成30年度貸付実績・・・1件

## 12. その他事業

### ①民生委員児童委員協議会の活動支援（事務局）



（堅徳小学校区連絡会）

民生児童委員・主任児童委員・学校  
区長・PTA・社協職員とて意見交換



（専門部会研修会）

災害時個別支援計画についての研修

#### <視察の受け入れ>

○玖珠町八幡地区社協・玖珠町民児協が視察 12月10日（津久見市民児協対応）



（玖珠町民児協受け入れ）

### ②その他福祉関係団体への活動支援

… 身体障がい者福祉協議会・盛人クラブ連合会・母子寡婦福祉会  
子ども会育成連絡協議会・臼津保護司会津久見分区・遺族会  
更生保護女性会・ボランティア連絡協議会・各ボランティアグループ  
各ボランティア協力校・社会を明るくする運動実施委員会  
市内福祉施設事業所等連絡会・県南福祉フォーラム津久見

### ③福祉バスの運行

福祉関係団体の研修会・大会参加時の送迎等を行いました。（乗車定員28名）

利用団体名	運行回数		
	H28	H29	H30
ふれあいサロン	41日	29日	51日
高齢者学級	5日	4日	7日
ボランティア登録団体	14日	9日	15日
市役所行事	9日	5日	16日
社協行事（サロン以外）	4日	3日	3日
福祉関係団体	2日	1日	1日



平成22年度 運行日数144日

福祉施設	9日	7日	5日
地区社協	7日	7日	6日
盛人クラブ	7日	3日	10日
保育所	0日	0日	0日
民生委員児童委員協議会	3日	0日	3日
遺族連合会	3日	1日	2日
学校関係	0日	0日	0日
その他団体	5日	5日	6日
計	109日	74日	125日

平成23年度 運行日数145日  
平成24年度 運行日数156日  
平成25年度 運行日数153日  
平成26年度 運行日数132日  
平成27年度 運行日数117日  
平成28年度 運行日数109日  
平成29年度 運行日数 74日  
平成30年度 運行日数125日





























































